

2012年度協会賞審査結果について

私立大学図書館協会会長校
立教大学図書館
館長 石川 巧

2012年度協会賞には2件の推薦があり、2012年度第2回協会賞審査委員会（2013年2月22日開催）にて採否について審議が行われました。その結果が、2012年度第2回東西合同役員会（2013年3月8日開催）に答申され、協議した結果、以下の2件が2012年度協会賞に採択と決定いたしました。

なお、協会賞の表彰は、中京大学で開催される2013年度総会・研究大会開会式にて行われます。

記

1. 慶應義塾大学三田メディアセンター

石黒敦子、杉山良子、長野裕恵、原田奈都子、森嶋桃子
『慶應義塾図書館史稿 1970 - 2012』の執筆・編修

採択の理由は次のとおりです。

- ・この史稿は、大学図書館の事績の羅列に終始することなく、図書館の将来への政策的な意味付けをもたせている点が評価できる。入念な事前調査を行い、執筆者の意図を明確に反映した編集方針をもつことによって、安定した記述となっており、わかりやすく読みやすい。
- ・この史稿が、図書館員によって編纂された点を評価する。大学図書館の現場における議論や判断を含めて記録されているので、他館が判断に困った時にも参考になる。
- ・従って、協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（1）の（ア）と（エ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。

・補足

今後はメディアセンター全体の事績を記録されることを意識され、慶應義塾全体の図書館史を執筆、刊行されることを期待する。

2. 京都外国語大学附属図書館

『知られざる世界への挑戦－航海、探検、漂流を記した書物百選』の執筆・編集

採択の理由は次のとおりです。

- ・この図録は、京都外国語大学附属図書館の学内外における展示会のために製作されたものであり、図書館司書が、入念な調査によって解題をわかりやすく執筆、編集した点を評価

する。また、英語訳が併記されているのがよい。

- この図録の構成および掲載内容が、学生、一般者の知的好奇心を喚起させるものになっている。また、図録の製作にあたり、写真撮影など一切妥協しない姿勢は、敬服するところであり、他館の参考になる。
- 従って、協会賞審査の申し合わせ事項の採択可否ポイント（１）の（ア）と（エ）に該当すると判断し、協会賞に採択する。
- 補足
今後の図録製作の際に、所属館員の資質向上や育成の観点から館員の参画を意識されるよう期待する。

以上